

ご存知ですか？「健診」と「検診」の違い

城里町歯科医師会

■「健診」と「検診」の違い

「健診」と「検診」の違いは、単なる字の間違いではありません。「健診」とは、職場や学校で年に1度受ける歯科健康診断や健康診断のことで、健康維持を目的とした一次予防です。「検診」とは、医学的な病気の早期発見や早期治療を目的とした二次予防のことで、学校歯科健診の結果、虫歯のチェックを受けなかったお子さんが数か月後に歯科医院を受診し、大きな虫歯が見つかったという話をまれに聞くことがあります。それは、健診ではレントゲン検査等による病態の発見をする検診（検査による診断）を行っているわけではないからです。歯と歯の間が詰まっていく年齢になると、歯と歯の間から始まった虫歯はレントゲン検査をしなければ早期の発見はできません。

■公的健診を上手に活用しましょう

乳幼児歯科健診では、虫歯の有無、歯並び、指しゃぶりなどの歯並びに悪影響を及ぼす（出っ歯になりやすい）癖の有無や指導、上唇小帯（上の唇のすじ）、舌小帯の異常などを主に診ます。

学童期の歯科健診では、歯肉の炎症、口内炎な

ど粘膜の異常、開口癖、歯並びに影響を与える過剰歯、顎関節の異常の有無など診る項目が増えます。

75歳以上の高齢者で、満75、80、85歳の誕生日を迎える方は無料の歯科健診が受診できます。歯や歯肉の状態、入れ歯の適合状態、かみ合わせ、口腔の状態（唾液の分泌、前がん病変の有無、粘膜の異常）、嚥下（飲み込む）機能などを診ます。

また城里町では、満40、50、60、70歳の誕生日を迎える方を対象にした歯周病検診を無料で実施しています。歯周病は、重症化すると歯を失い、全身の健康に影響してしまうため「検診」を行います。とはいえ、虫歯の有無をはじめ、歯並び、かみ合わせ、顎関節、口腔粘膜等の「健診」も行います。

お口の健康だけでなく、全身の健康を維持するためにも、年に一度は健診を受け、虫歯等を予防していくことが大切です。



自分でできる胃がんの予防対策をはじめましょう！

胃がんは、罹患率・死亡率ともに減少傾向にありますが、男女合計死亡率は第3位とまだまだ高い状況です。日頃から、胃にやさしい生活習慣を心がけ、胃がんを予防しましょう。

◆胃がんの主な原因は？

- ・塩分の摂り過ぎ、野菜不足
- ・ストレス ・喫煙
- ・ピロリ菌 など

◆予防のために自分でできることは？

- ・規則正しい時間に食事を摂り、腹八分目を心がける
- ・刺激の強いものや塩分を控え、野菜や果物を多く摂る
- ・年に1回、胃がん検診を受ける

ピロリ菌とは？ ピロリ菌は胃の粘膜にすみつく細菌で、一度感染すると除菌しない限りずっと胃の中に生息します。50歳以上の約70%の人が感染しているといわれています。詳しい感染経路はわかっていませんが、生水の摂取や食べ物の口移し等が一因とされています。

◆胃がん検診を未受診の方！まだ間に合います！

町では、右の日程で追加健診を実施します。受診希望の方は、健診日の前日までに健康保険課 健康増進グループ（☎029-240-6550）に直接電話でお申し込みください。

◇総合健診（胃がん検診あり）※バリウム検査

日 程	受付時間	場 所
12月3日(火)	午前7時30分～10時	常北保健福祉センター

◇集団健診（胃がん検診なし）

日 程	受付時間	場 所
12月10日(火)	午前9時30分～11時 午後1時30分～3時	常北保健福祉センター
12月13日(金)	午前9時～10時 午後1時30分～3時	七会保健福祉センター 桂 公 民 館

申込先・問合せ 健康保険課 健康増進グループ（常北保健福祉センター内） ☎029-240-6550